

全ホール・バーディ
玉木克彦



清川で最初にバーディを取ったのは、平成十五年十一月二十一日九番ホール。その時は有頂天となった。その後、時々バーディを取れるようになってきた。テレビのゴルフ解説で、アニカソレンスタムが「理想的なゴルフスコアーは、全ホールバーディを取る事」と言っていたという話を聞いたので、自分もこれを一つの目標にしようと考えた。無論一ラウンドで達成することは、お天道様が西から昇っても不可能なので、累積で全ホールバーディをとることにし、スタートした。

その結果として、現在までに二回全ホールバーディを達成して、現在三回目にチャレンジ中です。

因みに、経過報告をしますと、一回目は平成十五年十一月二十一日から平成十九年八月三日。二回目は平成十九年八月十日から平成二十二年十月七日。達成ホールはいずれも八番ホール。

ゴルフ考
森岡茂孝



いろいろ楽しいことはありますが、ゴルフとも付き合いがどれよりも長くなりました。ゴルフを知らなかったなら又全く違った人生になったことでしょう。清川のメンバーになれたのも、今の私には豊かな老後人生を約束してくれ、それが出来る環境に感謝しているところです。燦木会との出会いもその一つで、毎月楽しい時を過ごさせてもらっています。

ゴルフは人生に良く似ていると云われますが、正にラウンドの中に人生が詰まっているという感じで、何度ラウンドをしても飽きることなく、巧く打って喜び、大叩きして嘆き、でも次は又やるぞ!...と希望を持ち、一打でも縮めようと必死になったり。

ゴルフの18ホールは実に良くできた数で、これが10ホールでも20ホールでも駄目だと思います。野球のベース間の距離と同じように!

しかも14本の道具を使ってボールを最終的にカップに沈める...、その快感こそがゴルフたる所以ではないでしょうか! もしそこに穴がなかったら...!

人生も16番ホール前後に差し掛かりました。上がり3ホールをワンボーバーくらいで終えたいものです。ゴルフ万歳!

17番ホールでの戯れ言
三橋弘道



先日、ある先輩と清川 C.C を廻った時の話です。ご存じ17番ホール。私のドライバーショットは、ドローせずに右の林に一直線。

すかさず、先輩の一言「煎餅蒲団デース」。

私、「何ですか、それ」。

先輩、「打ち直しが必要でしょう」。

私、「(今時、打ち直しが必要な蒲団なんて)「判りました、暫定球、打ちます」。

ちょっと、気持ちを引きずった私の打ち直しは、トップ。

すかさず、先輩「ヨ銀座の花屋」。

私、「何ですか、それ」。

先輩、「売れるのは、蘭ばかり。ランがよくでるネ」。

結果、5打でグリーンオン。すかさず、先輩「ヨ 遠くの鐘の音」。

私、「何ですか、それ」。

先輩、「だって、5オン、つまりゴーン」。

他人のショットなら笑える「超レトロギャグ」ですが、メロメロでした。



燦木会・会報9号



Kiyokawa Sunmoku-Club 清川CC・燦木会 Vol-9 平成24年1月

“今年、私の課題は努力、” 燦木会会長 石井寅三郎



明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって、良い年であるようお祈り申し上げます。昨年末、小さな巨人・杉原輝雄プロが亡くなった。氏に関しこの会報でも書いたことを記憶していますが、大変な努力家。私は大阪勤務時代、38年前の茨城カントリーで厳寒ゴルフを敢行。8時朝一番のスタート。そこへ霜で真っ白なコースを白い息を吐きながら9番ホールへ戻ってくる人影。杉原プロだ。毎日の行事になっている。

氏に上達の秘訣を同伴友人と共に聞いたことがあった。氏曰く、サラリーマンが8時間勤務するなら、我々プロは倍以上練習しなければならない。その後もオフシーズン中私が行くと、必ず同じパターンを繰り返していた。

通算63勝の小柄なドン。勝ってもなお練習。勝つために基本を無視?した変則スイング、飛距離稼ぎに48インチドライバー。氏の名言は多くあるが、「暑い寒い我慢できるが、スコアーの悪いのは我慢ならん」。

何より記憶にあるのは、日米対抗戦での出来事。和歌山橋本カントリーで対戦相手はロン・シンクル。190センチ・120kg、当時一番の飛ばし屋。上がり185ヤードショートホール。強いアゲンスト。注目の中で杉原プロは何食わぬ顔で自身の手でドライバーを抜き、高い球でナイスオン。シンクルは啞然とし、迷いながら3番アイアンを使用しオーバー。ボールはグリーンを駆け抜け日本に貴重な一勝をもたらした。

その当日、東京出張のため最終便飛行機に乗っていたら、偶然にも米チームが乗り込んできた。彼らの会話はほとんどわからなかったが、杉原プロのショートホールのドライバーショット、空中で球が止まる技術の話で持ちきりであったと思う。

その時、英会話の勉強をと思ったが、未だにブラシングアップをしていない。努力の杉原プロに申し訳ない。

燦木会歴代上位入賞者 (2011年7月～2011年12月)

| | |
|--|---|
| 第64回燦木会 平成23年7月 台風のため中止 | 第67回燦木会 平成23年10月20日 参加21名 |
| 優勝：高尾 武 2位：中川 彊 3位：田尾 森朗 4位：三橋 弘道 5位：船橋 國則 NR2名 | 優勝：船橋 國則 2位：西岡 守彦 3位：秋澤 七郎 4位：鈴木 郁男 5位：林 忠夫 |
| 第65回燦木会 平成23年8月18日 参加24名 | 第68回燦木会 平成26年11月17日 参加22名 |
| 優勝：高尾 武 2位：中川 彊 3位：田尾 森朗 4位：三橋 弘道 5位：船橋 國則 NR2名 | 優勝：三橋 弘道 2位：米田 喜明 3位：秋澤 七郎 4位：早田 忠彦 5位：荻原 博 |
| 第66回燦木会 平成23年9月15日 参加23名 | 第69回燦木会 平成23年12月15日 参加23名 |
| 優勝：玉木 克彦 2位：中野 弘 3位：宮川 克己 4位：川上 敏夫 5位：三橋 弘道 | 優勝：中野 弘 2位：森岡 茂孝 3位：高尾 武 4位：中川 彊 5位：早田 忠彦 |

会員名簿

(36名・五十音順・平成24年1月現在)

| | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋澤 七郎 | 天野 望 | 石井寅三郎 | 海老沢 均 | 小川 和朗 | 荻原 博 | 荻原 育子 |
| 川上 敏夫 | 菊地原忠光 | 黒澤 街子 | 後藤 至彦 | 斉藤 哲雄 | 塩田 清 | 鹿倉 武久 |
| 鈴木 郁男 | 田尾 森郎 | 高尾 武 | 滝川 麗子 | 玉木 克彦 | 坪井 克元 | 鳥飼 康子 |
| 中川 彊 | 中野 弘 | 中野真理子 | 西岡 守彦 | 林 忠夫 | 早田 忠彦 | 伴野 文夫 |
| 船橋 國則 | 三橋 弘道 | 宮川 克己 | 森岡 茂孝 | 森田 忠夫 | 山澤 興英 | 米田 博一 |
| 米田 嘉明 | 休会/7名 | | | | | |
| 会長/石井寅三郎 顧問/後藤至彦 幹事/中川 彊/天野 望/鳥飼康子/斉藤哲雄 | | | | | | |

燦木会2011年・年間優秀選手表彰

| | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|----------------------------------|
| ● 最優秀選手 高尾 武 参加10/11 31ポイント | ● 優秀選手 鹿倉武久 参加10/11 22ポイント | ● 優秀選手 森岡茂孝 参加10/11 22ポイント | ● ベストグロス 三橋弘道 参加8/11 上位5回平均 78.5ストローク | ● 努力賞 塩田 清 参加6/11 1ポイント |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|----------------------------------|

燦木会2010年・下半期表彰

● 皆勤賞(下半期:2010年7月～12月)

